

やすらぎ

平成22年8月1日
〔第136号〕

発行 御所モラロジー事務所 発行責任者 吉田 実
〒639-2241 奈良県御所市茅原118-1 TEL/FAX 0745-64-3030 E.mail gose-mc@m5.kcn.ne.jp

第14回モラロジー生涯学習セミナー 開催に当たって



今回、実行委員長をさせて頂く考え方として

- 一、 事務所全員がフルに力を出し切れるように
- 二、 報告・連絡・相談実行の徹底をはかり代表を通して精神伝統にご安心をして頂けるよう
- 三、 道徳日本の建設に寄与する事は当然ではありますが、合わせて個人の運命の立替が出来るようにする

一、は過去十年程前より御所事務所では、200名～300名の参加者をお誘いするのはあまり苦勞ではなく、その2倍は十分力があると思われませんが、会場の都合で今日まで来ています。それで今回は新しい方々100%の200名として努力して頂きます。

二、は過去にセミナー開催中、司会者が

持ち場を離れ一部の方や代表世話人に心配をかけたことがあり、このようなことがないように、危機管理を徹底すると共に伝統にご安心を願うようにする。

三、は一人でも多く新しい方々にモラロジーの考え方を知って頂くようお誘いをし、合わせて自分は何のために活動をしているのかを確認をして最高道徳実行の肚づくりをすると共に、継続学習から中日本センターの同行受講をするよう計画を立てる。

実行委員長 細川 家成

事務所を飛び出し 女性の集い おふさ観音、県立万葉文化館へ

梅雨の晴れ間、青空が澄み渡り太陽が眩しい6月24日(木曜日)の朝10時、女性のつどい参加者一行30名はマイクロバスと乗用車にて橿原市のおふさ観音(高野山真言宗別格本山観音寺)へと向いました。寺の駐車場で車を降り、聖徳太子が昔飛鳥へと通われた古代の道を5分ばかり歩き、小さい山門をくぐるとバラ庭園の向こうに本堂が私たちを迎えてくれました。

早速入堂させて頂き、密門光範御住職による法話を50分程賜りました。17世紀頃に土地の娘「おふさ」さんがこの地で観音様を祀ったのがこの寺の始まりとか。さらに幼くして父親を亡くされた住職が8才の時に、母に連れられて当寺に来られて以来、多くの淋しさ、辛さ、苦しみを乗り越えられ72才の今日、立派な御住職となられた体験を伺いました。



「一人ぼっちになった私を支えてくれたのは、いつも、やさしく、あたたかい母の思い出と『辛抱するんやで』という母の言葉でした」

目頭を押さえつつ聴き入っていた私でしたが、今は亡き母をなつかしく、そしてあたたかく偲びました。毎日の忙しさの中に忘れてしまっている女性本来の大切な心、思いやり慈悲の心を観音様の御縁で改めて思い起こさせて戴きました。

御法話の後、御本尊十一面観音を礼拝しつつ一人一人に御加持を賜りました。堂内の沢山の佛像の数々を見学した後、「花まんだら」の寺といわれるに相応しい、バラ、紫陽花、鉄線の花々や回遊式日本庭園「円空庭」で甲羅干しする沢山の亀にも心とまされました。近くのレストランで昼食を楽しみながら仲良く談笑の後、飛鳥の県立万葉文化館へ場所を移しました。

ボランティアのガイドさんから、庭園の飛鳥遺構や日本に現存する最古の歌集万葉集 4500 首に詠まれた約 160 種の植物のうち、一番多いのが萩、次いで梅、桜、山吹等。説明を受けた後館内展示物を鑑賞しました。万葉人のおおらかさ、豊かな心が感じ取られ、ゆったりとした気持ちで夕刻 4 時に全員無事御所に戻りました。

今日一日お陰様で聴いて観てそして様々

に感じ、気付かせて戴き、心豊かになりました。この気持ちで明日からの生活を豊かに送ってまいりたいと思います。有難う御座いました。

田村佳世

男!!同志の忘れられない伝統の日・・・

去る 6 月 12 日(土)から一泊二日で、瑞浪会場で行われた伝統の日「感謝の集い」に参加して参りました。今回は、奈良県モラロジー協議会青年クラブのメンバー男ばかり 13 名が 2 台の車に分乗し研修と親睦を兼ねたツアーとなりました。

今回研修の目的は、今年 2 月に行われた青年講演会で占部賢志講師が、昭和に行われた先人の思いがこの平成の御世にも受け継がれ花を咲かせていると言う秘話を紹介されたことにあります。



それは、「御母衣ダム建設に伴う二つの老桜のいのちを助けたいと願う先人たちが起こした奇跡の話」でした。戦後「空前の電力危機」を回避する為に、岐阜県の荘川上流部に御母衣ダムが建設されることになりました。水没する集落に当時樹齢 400 年あまり、地域住民の人生を見守り、この木の下で元気に遊び、憩い、楽しんできた生活の中心とも言える老桜たち。「この巨木を水没から助けたい」と願う一人の紳士の強い思いから高さ 30m、幹の周り 6m、重さ 40 t あまりの巨木移動のプロジェクトがスタートしました。「世紀の大移植」-それは、不可能への挑戦だったそうです。

作業開始を初冬の寒さ厳しい 11 月とし、



ブルドーザー 3 台を使って、老桜を 1 本ずつ 50m 引き上げる作業を 2 度繰り返し、作業開始から 1 ヶ月あまりの昭和 35 年 12 月 24 日、植林史上世界初とも言

える大がかりな移植作業はようやく完了しました。

そして翌年、移植された老桜に、こもの目を突いて若芽が顔をのぞかせました。

この世紀の大移植を乗り越えた老桜は水没地の名をとって「莊川桜」と命名され、御母衣湖を臨む中野展望台に佇み、元住民の故郷を偲ぶシンボルとなりました。今年の春も生き生きとした美しい花を咲かせていたそうです。

私たちは、この「莊川桜」の話を聞き、当時の先人の思いを少しでも感じられるように現地に足を運ぶ事にしました。実際「莊川桜」を見て私は感動しました。心に描く桜より遥かに大きく、何か品があり威厳を感じました。先人の思いが、時を越えこの平成の御世に脈々と流れていると言う事実遭遇し、「志」の凄さを改めて感じる事が出来ました。

「莊川桜」見学の後、白川郷に行き先人の生活の知恵・地域住民の温かさなども学習させて頂きました。夜は、下呂温泉で懇親会を行い心と体のリフレッシュをはかりました。

翌朝、瑞浪で行われた伝統の日「感謝の集い」に参加させて頂きました。廣池理事長の挨拶で、「諸伝統の恩恵に気づき、感謝と報恩の誠を尽くすと言うことが、次世代

研究費、事務所協力費の納め方

研究費（報恩）や事務所協力費の納め方については、ご心配やご不便をおかけしてきましたが、安全確保のため、今後は下記の 2 つの方法のどちらかでお納め下さい。

1) 毎月 4 日、5 日、12 日
（午後 7：30 から事務所行事の終了まで）
会場内に設置した報恩箱に投入

2) 郵便局の振替貯金
御所モラロジー事務所あて送金
（口座番号 00960-2-216914）
通信欄に研究費いくら、事務所費いくらと明細を書いてください。会計の手許まで到着するのに数日を要します。
近日中に料金加入者負担の振込用紙を全員に配布します。

に「伝統尊重」の精神を伝え、家庭と国家を磐石なものにして行くことです。」と言われた言葉にすごく共感することができた伝統の日となりました。

今年の感謝の集いは、私にとって忘れられない伝統の日となりました。

細川成樹

（株）鳳羽電設学習会開催

6 月 28 日～29 日、株式会社鳳羽電設 森村 稔社長は、社員を対象に福岡事務所の



野田好秋講師を迎え社員教育の一環としてモラロジーの学習会を開催しました。森村社長は昨年10月に中日本生涯学習センターを受講した際に野田講師と面識をもって以来、同講師出講の企業セミナー、京都、奈良会場等に参加、師のご好意により福岡から遠方ではありますが、今回特別にご来社頂きました。

1日目は全社員を対象に、テキスト「自他を生きす道」を用いて1章～8章、新世紀を導く価値基準、道徳の必要性について7時間に亘り体験と分かり易い例題をもって講義して頂きました。至誠溢れる熱弁に感動し殆どの社員は居眠りもせず、時々テキストを読み筆記もして1日中熱心に学習しました。

2日目午前中幹部社員の研修では、経営者



としてどうあるべきか。

道徳経済一体の理念に基づく「三方善」の経営は社長、幹部が率先して実践することが肝要である。又利益配分等、考え方や率について自ら経営する野田ミート株式会社代表取締役社長として実践例を詳しく教えて頂きました。

2日間の学習会を終えて、森村社長は決意も新たに自ら本部、幹部社員のセンター受講計画を具体的にされました。

今回の学習会は当社にとって最も善途感慨深い好機として、今後一層モラロジーの研鑽と実践を累積され、更なる幸せと事業の発展を心から願って止みません。

倉本 佳洋

歩こう会 大和三山

平成15年11月3日の大和三山は雨の中を歩いた。19年6月は参加者が激減し中止。その後も計画しては流れた。今回6月27日



は雨が降ろうが、槍が降ろうが何が何でも決行との勢いで全員傘、カップ、スパッツと準備万端で7時、事務所を出発。

空は？どうやら曇り空、畝傍山から登り始め、前回と同じルートで行くことに。道はぬかるんでいたが、大勢の人が登っていた。(年配の夫婦が多かった)山桃の木がたくさんあり、熟した実がたくさん足もとに落ち、甘ずっぱい香り。さっそく全員「いただきま～す」

香具山に向かって歩くが、アスファルトの道はさすがに暑い。湿度は100%？、香具山の手前に、きれいなトイレと休憩所が出来ていたので、水分補給をして登る。ここ





はさすがに人は少なく 2 人見ただけでした。

さあ！あと 1 山、ところが耳成山までが

つらい道です。雲の隙間から太陽まで出てきた。うれしいやら、暑いやら。やっと耳成山の公園に着き、ここで昼食を取ることに。休憩後、リュックは軽くなったが、お腹が重い、あと一ふんばりです。登っていくところにも山桃が多い。それに猫、え～！前はこんなにいなかったのに、猫、ネコ、ねこ、neko、誰かがえさを与えていた。それはだめでしょう、猫が増えるはずです。

大和三山を歩き終わって、八木駅 12:40 発の電車に乗る。今回は、山は涼しく気持ちがいいが舗装道路はきつく、少々疲れ気味でした。

うえだ

ツアーガイド(8) 巡る足なみ

或る時、新潟県人が丑寅会との名を称して、15名の老人集団で、遷都 1300 年祭の会場へとやってきた。おや、丑寅会とは聞いてみたら、やっぱり昭和 12 年生まれの丑年で同じ歳であることを知り、ニヤリと親近感をもよおした。

男性が 2 名、女性が 13 名で、先頭に自信ありげな団体を統率する 1 人の男性がいた。

その先導者はボスの存在の幹事さんで、常にそのポストにいるらしかった。

彼はガイドの説明の間の虚をついて、横から自家薬籠の前もって調べてきた知識を、自慢げにしゃべって、ガイドの邪魔をした。

「いつもああなんだよ。」と、他のもう 1 人の男性が私に舌打ちして知らせてくれた。

変な同窓会の旅行はすでに 20 回を越したといっていた。従順な女性たちに囲まれ

て、彼のハーレムは将来へと続く環境にあるらしかった。

先日も、45 名の婦人団体が探訪ツアーにやって来た。近ごろ都会の婦人会は「婦人会」とは差別用語だと、洒落たネーミングを好むらしい。

彼女たちは、60 歳代で上手に化粧して、年齢をごまかし、おんなっ気をアピールしている。私はことのほかこんな女性との会話、説明には、いつもお土産的な持ち帰りの掘出のエピソードをして帰らすことにしていた。

平城遷都を實際、企画立案し、実行した人物は藤原不比等である。彼なしでは実現しなかつたろうと云われている。

藤原鎌足の二男であった彼には異母で妹の五百重媛(いおえのいらつめ)と云う女性がいて、若くして天武天皇の夫人(妻)となつて、新田部親王という皇子を生んでいた。飛鳥、大原の里(明日香、小原)には大原神社が今もあつて、天武天皇が藤原夫人に贈つた歌碑がある。

「わが里に 大雪降りり 大原の古(ふ)りにし里に落(ふ)らまくは後(のち)」と恋しく歌っている。その後兄の不比等の妻となり藤原夫人は兄の子麻呂(藤原氏京家の創始)を宿している。

また藤原不比等には、娼子、鴨媛、五百重媛以外にも県犬養(あがたいぬがい)三千代という名の妻がいる。三千代は皇室系



の夫、美努王の妻として、葛城王(橘諸兄)佐為王、そして牟漏女王と 3 人の子供がいた。夫、美努王が筑紫大宰の任にあずかり

留守中、宮中の女官をしていた妻三千代は、不比等と不倫する仲となり後に妻となって、光明子を生んでいる。

聖武天皇の母は、不比等の娘、宮子であり、孫に娘を娶(めと)らしたことになる。

こんな話をするといつも興味を抱いて彼女たちは熱心なまなざしで話のあとを追ってくる。光明子(光明天皇)はどんな美人か知りたければ、今も法華寺の本尊十二面観音菩薩としていらっしやると云って、最後まで丁寧に説明して終る。

5月27日、御所中学校から母校の後輩たちが勉強に会場を訪れたと同僚から知らされて、思いのほかおとなしく聞いてくれたと云っていた。

私達は老人たちでもある。しかし生徒たちよりも規則正しく、若々しい面を共有してボランティアに生かされようとしている。

井の中から出て、大海を知ろうとする蛙たちは、孫たちの祖父でもある。

トーマス

運営委員会報告

7月22日(木)定例の運営委員会が開催され10名が出席しました。「80歳以上の会員さんのお誕生祝いを、6月に三室千恵子様、7月に奥野先生に届けてきました」と吉田代表世話人が挨拶し、報告事項、審議事項と始まりました。

報告事項

1. 研究費、事務所費などの取り扱い方法について報告あり(やすらぎ本誌に報告)。
2. 生涯学習セミナーの準備状況。
 - ・ 伊勢神宮への祈願参拝者は13名でマイクロバスにて行きます。参加費は6000円とします。
 - ・ リーフレット、事務所開きの案内はがきなど検討。

- ・ 継続学習 10月21日(木)伊賀講師、11月18日(木)田中講師に決定。

3. 女性クラブ 6月24日女性の集い開催報告(記事掲載)。
4. 教育者部会、第47回教育者研究会が8月8日(日)郡山会場、8月22日(日)葛城会場(社会教育センター)において開催されます。お勧め下さい。

審議事項

1. 敬老キャンペーンについては9月20日(敬老の日)にニューモラル誌500部の配布をライフ御所店にて行う。
2. 新入会員、吉田武次氏を承認。
3. 第14回セミナーに準備費用として20万円仮払い承認。

編集後記

【均ちゃん、はね、均ちゃんとい
うんだ、ほんとはね
だけでどっかいから
お酒をたくさん飲むんだよ
おかしいな】

誰かが私の編集後記で遊
んでいます。

最近の暑さ普通ではあり
ません。私の子供の頃は、も
っと涼しかったように思
いますが…。誰ですか?。私
が山奥の田舎育ちだったか
ら「って云うのは、その通り
で、当たってますが…。
そんなこんなで、仕事が終
わって家に帰って飲むビー
ル、最高。最近本数も増え困
っています。

飲み助 キン